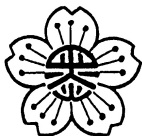


学校だより

やさしい子 たくましい子 考える子

5月号



# 黒門

発行日 令和4年4月28日

発行者 台東区立黒門小学校

校長 石田 隆

## 「聴く」ことを通してコミュニケーションや学びを深める

副校長 岩崎 公慈

新型コロナウイルス感染症対策としての新しい生活様式はすっかり定着しましたが、10代未満の新規陽性者数が引き続き高い値で推移しています。東京都はリバウンド警戒期間を5月22日まで延長しました。児童の学びを止めないためにも、学習環境の整備やICT・タブレット端末の日常的な活用をはじめ、できることを着実にやり、日々の教育活動を推進してまいります。

新学期が始まり、明るい笑顔で元気に挨拶する子供たちがいろいろなことを話しかけてくれました。クラス替えをして新しい友達ができたと。新しい担任の先生が面白い話をしたこと。上野動物園からもらったパンダのぬいぐるみをかわいがっていること。どの学年、学級も担任と児童、児童同士が笑顔で接し、意欲的に学習活動を進め、学校生活を過ごしていることを嬉しく思います。

\*

4月25日の月曜日、児童朝会で「聞く」と「聴く」のちがいについて話しました。

「聞く」は音を耳で感じ取ること。自然に耳に入ってくること。「聴く」は聞こうとして聞くこと。注意してよく聞くこと。「聴く」ということは、話している人に目と心に向け、その人の思いや考えを受け取るということです。「聴く」ことを心がけることは、コミュニケーションを豊かにする秘訣ともいえます。聴こうとする態度や気持ちは、話す人に安心感を与えます。この安心感が会話の充実につながり、よいコミュニケーションを生み出します。自分が主張するばかりでは、相手とのよりよい関係は築けません。人と人がつながる時に大切なのは「聴き合う」ことではないかと思えます。お互いに聴き合おうとする態度や気持ちは「思いやりの心」にもつながる大切なものだと思います。

また、学びにおいても、「聴く」という行為は大切です。「聴く」ことによって、相手とのちがいに気づき、考えを比較することができます。相手の考えを受け入れることで、学び合い、自分の考えを更に深めていきます。自分に都合のよいことだけでなく、助言や時に厳しい批判を受け入れることも必要です。「聴き上手は話し上手」「聴き上手は学び上手」と言われますが、そのような子供たちを育てていきたいと思えます。

私自身も、子供たちの話を、保護者の皆様の話を、地域で応援し、関わってくださっている皆様の話をしっかりと聴いて教育活動を進めてまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

### ご協力をお願いいたします

・欠席、遅刻の連絡は SumaMachi(スマまち)をご活用ください。

まだ、登録がすんでいない方は速やかに登録をお願いいたします。

電話で連絡をする場合には8:10～8:15の間にいただくと助かります。

・教職員の勤務時間は8:10～16:40です。

学校への電話はできるだけこの時間内をお願いいたします。

緊急の場合は学校携帯電話(080-7484-8699)までご連絡ください。